

赤潮情報第38号

（八代海：カレンニア ミキモトイ 注意報 続報）

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

TEL0964-56-2613 FAX56-4533

八代海でシャットネラ属が確認されています

本日、熊本県が調査したところ、シャットネラ属が姫戸沖等で海水1mL当たり最大4細胞、確認されました。

また、天草市楠浦地先等でカレンニア ミキモトイ最大310細胞確認されました。今後の天候や海況によって増殖する可能性がありますので、注意が必要です（詳細は下図を参照して下さい）。

両種ともに有害で、特にシャットネラ属は海水が着色しない程度の細胞数でも魚介類がへい死する恐れがあります。周辺海域で養殖・蓄養をされている場合は、海の色の変化や、飼育生物の様子に十分注意してください。

※数字は水深0m, 2m, 5m, 10m層の海水1mL当たりのシャットネラ属の細胞数、()の数字はカレンニア ミキモトイの細胞数です。
×印: 全ての採水層でシャットネラ属及びカレンニアが0細胞の調査点。●はゴニオラックスポリグラマによる着色域です。

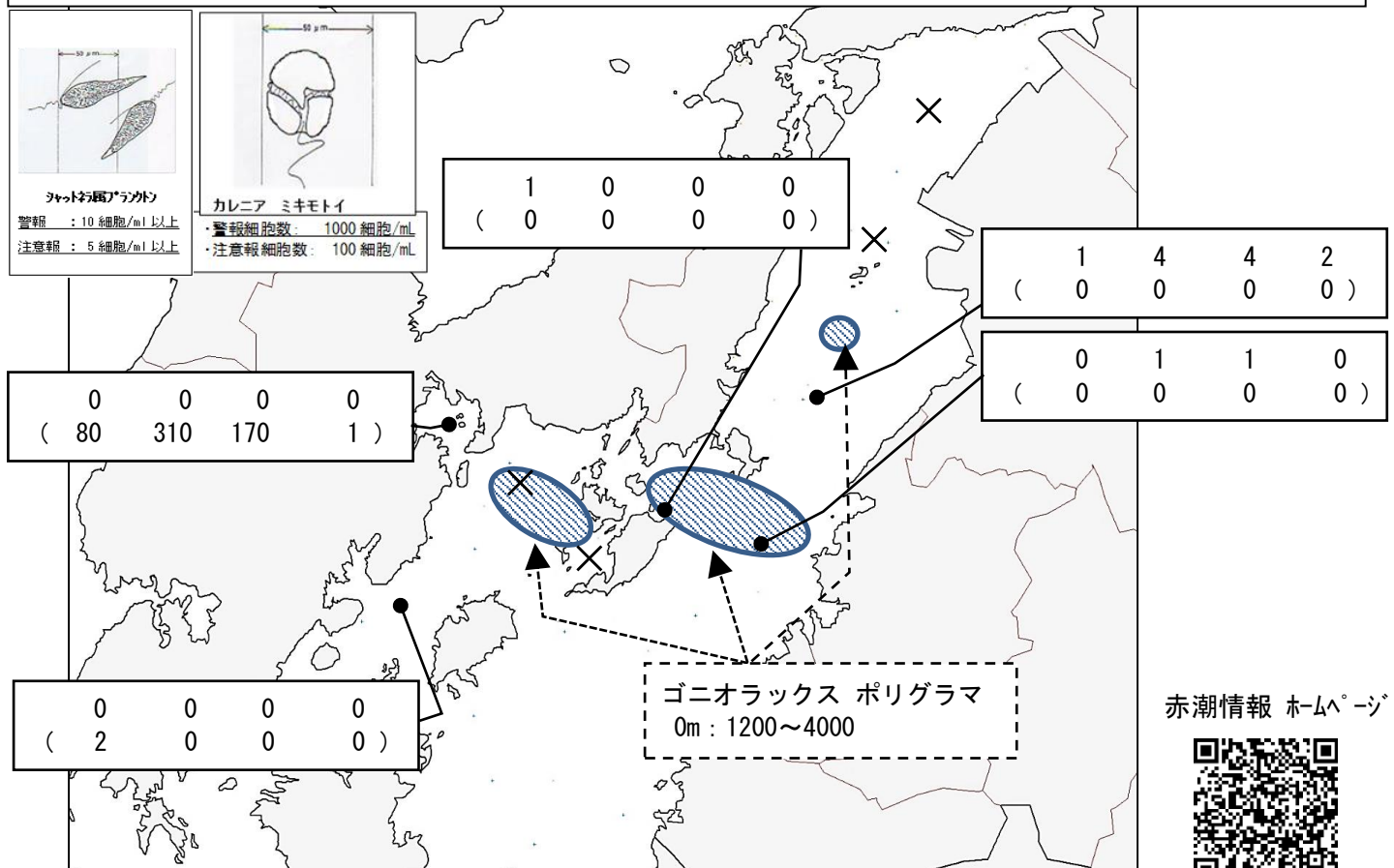


図 赤潮発生海域

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください（ホームページの更新に時間を要する場合があります）。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット

